

JPRSにおけるIDNの現状

2003. 6. 20

堀田 博文

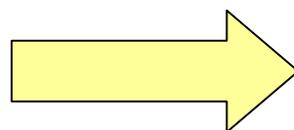
JPRS (日本レジストリサービス)

hotta@jprs.co.jp

<http://日本レジストリサービス.jp/>

日本語JPドメイン名の優れた点

- 使用可能文字の定義
 - サービス開始前に日本語JPドメイン名で使用可能な文字集合と等価文字定義について検討し、それに基づき技術細則を定義
- 段階的導入
 - 優先登録申請期間
 - 第三レベルドメイン名登録者、商標保持者を優先
 - 同時登録申請期間
 - 一定期間に届いた申請で競合があれば抽選
 - 先願登録申請期間
- 予約語
 - 公的機関名、自治体名、等は予約
 - よく使われる一般名詞は予約
- **DRP**

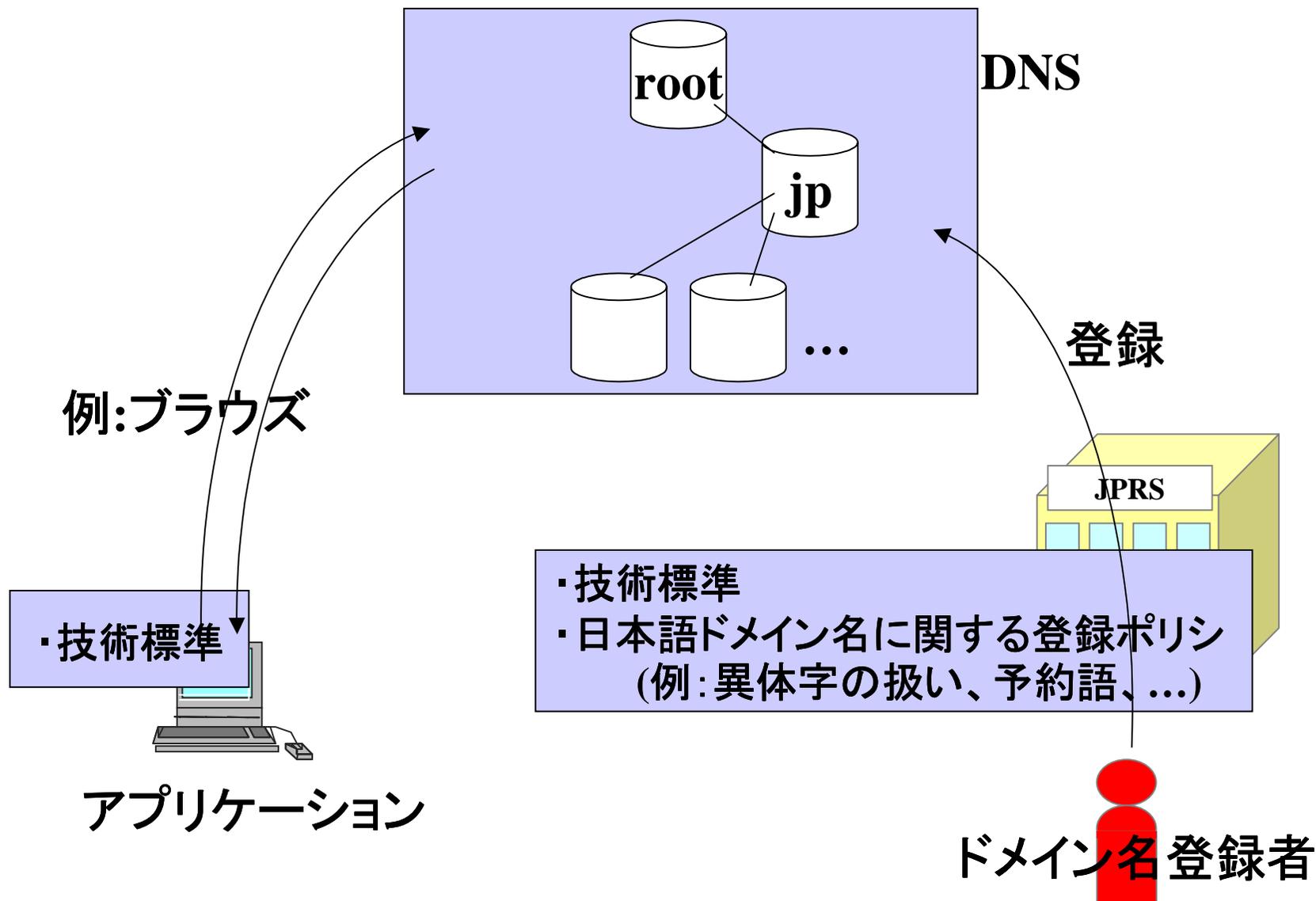


世界を先導し、模範となってきた

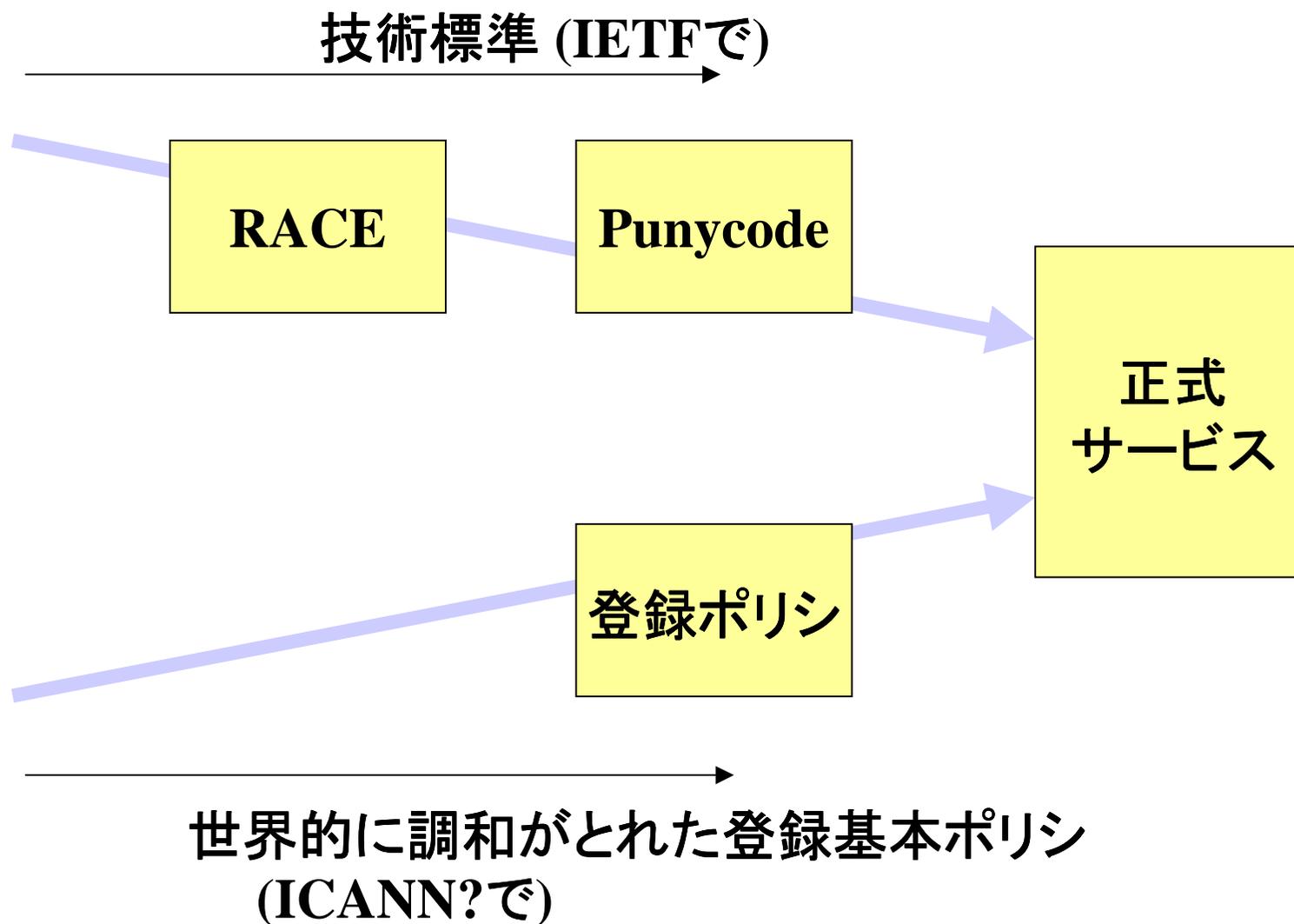
日本語ドメイン名における異体字の扱い

- 2000.11.2 (JPNIC)
 - JPドメイン名技術細則
 - 日本語JPドメイン名で用いることのできる文字集合の規定
 - 平仮名
 - 片仮名
 - JIS第一水準漢字
 - JIS第二水準漢字
 - ・、へ、ゑ、よ、ど、々、ー
 - 異体字を持たないことを規定
 - draft-ietf-idn-jpchar-00.txt
 - draft-ietf-idn-jpchar-01.txt
- 2003.6.12 (JPNIC&JPRS)
 - 技術細則の改訂を判断
 - 日本語JPドメイン名で用いることのできる文字集合に4文字追加
 - 〃、全、ㄨ、○
 - 異体字を持たないことを規定
 - 変更無し
 - draft-yoneya-idn-jachar-00.txt

RFC 準拠の登録サービスについて



正式サービスへの要求条件



登録基本ポリシーとは

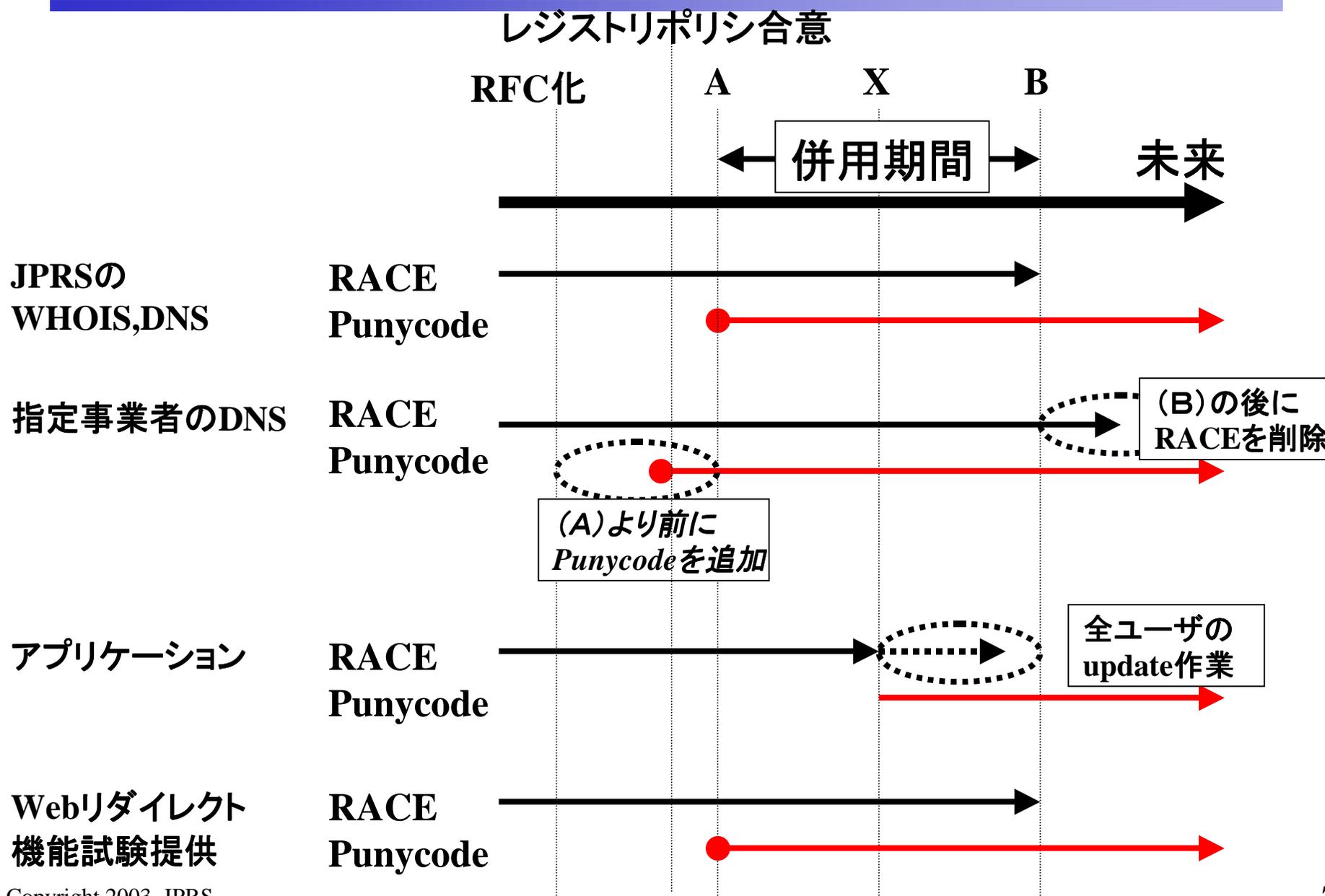
- 強い要求
 - RFC準拠
 - inclusion-based approach
 - ドメイン名には言語情報を付与
 - 言語特有の登録ポリシーは適切に協力し決定
- 弱い要求
 - ドメイン名には1言語もしくは言語集合に属すると定義された文字のみを使用
 - ドメイン名が対応する言語でユーザサービス実施

.JPがこれまでにとってきたポリシーが
この登録基本ポリシーとして採用されている



.JPのサービスに変更無し

RFC準拠サービスへの移行手順



利用環境整備への取組み

A. 情報提供、普及

1. JDNA, JPNIC, JPRS,

B. RealNamesソリューション、i-Nav Plug-inの提供

1. JPRSレジストリからの提供
2. JPDirectからの配布(i-Nav)
3. 他のチャンネルでのパブリシティアップ
 - (1) マスメディア
 - (2) 検索サイト等からのリンク
 - (3) 関連組織・企業サイトからのリンク

C. 他アプリケーションの紹介

1. JDNA Webサイトでの紹介
 - (1) IDN処理可能アプリケーションの紹介
 - (2) インストール方法・利用方法の紹介

D. Webサイトリダイレクト機能の試験提供

1. 日本語ドメイン名をアドレスバーに入力するとASCII名サイトにリダイレクト